

試案に対する今泉委員の意見（第7回審議委員会）

前文の試案（7/22）

○少子高齢化が加速する今日、本市が魅力と可能性のあふれる都市として存在感を高め、市民が求める多様な行政サービスを供給できる自立した都市であり続けるためには、

【修正箇所】

高齢者や既存の事業所の活動に依存したり、企業誘致に過度な期待を抱くだけでは困難であると思われます。



（修正文）

こうした産業文化や伝統技術の継承に加えて、新たな取り組みが必要だと思われます。

（理由：表現がネガティブすぎるかと感じました。）